

地域へのお役立ち

地域とのつながりを大切に安全・安心な地域づくりを応援



■ 敦賀市と包括連携協定締結

2025年3月、敦賀市役所において、「包括連携協定」を締結しました。この間の「災害時の物資協力協定」「地域見守り協定」を包括して、SDGsやエシカル消費の推進、脱炭素社会の実現など11項目で連携を取りながら、より地域に根ざした活動を敦賀市と一緒に進めていきます。自治体との包括連携協定は、南越前町・鯖江市・越前市・大野市・小浜市に次いで6自治体となりました。

項目	24年度	23年度	前年比
地域団体・行政とのネットワーク数	377件	362件	104.1%

■ 福井新聞社と包括連携協定を締結

2024年6月福井新聞社と包括的連携に関する協定を締結しました。連携協定は「県民の食とくらしを守る」をスローガンに設定し、主要4テーマでの連携に向け担当者レベルの専門部会を立ち上げて事業立案に取り組みを行います。

主要4テーマ

- 生活物流
- 県民の防災意識向上
- 子育て支援
- SDGs(持続可能な開発目標)



■ 福井県防災士会と連携協定を締結

2024年8月、福井県防災士会と連携協定を締結しました。協定では、福井県民の防災力を高め、災害に強い社会の実現に寄与することを目的に、「県民の知識や意識向上に向けた取り組み」、「防災商品の共同開発と普及に向けた取り組み」、「防災士の拡大に向けた取り組み」、「災害発生時における連携など」について連携していくことを約束しました。



■ ふくい協同労働推進協議会を発足

2024年7月、福井県や自治体、県民せいきょうで構成する「ふくい協同労働推進協議会」が発足し、労働者自らが出資、運営などを行う「労働者協同組合」の立ち上げや運営を支援する、相互連携のもと取り組みを進めていくことが確認されました。



■ 市民活動助成金制度

福井県民生協市民活動助成金制度は、県内の公益的社会的活動に取り組む市民団体やグループの活動を資金面で支援する制度です。2006年度より行っており、今回で20回目となります。今回の助成団体は社会貢献基金運営委員会での評価の結果、16団体を助成候補団体として選出し、総額95万円を助成していきます。

今後、助成団体への情報提供やイベントでの連携を進めながら、つながりや交流を作っていきます。

活動エリア	団体名	活動分野	活動エリア	団体名	活動分野
坂井・あわら	musubu	環境	丹南	越前市食生活改善推進委員会	食育
坂井・あわら	Cheers	子育て支援	県内全域	特定非営利活動法人 ふくい子どもホスピス	子育て支援
県内全域	わくにご実行委員会	環境・その他	丹南	トーンチャイムサークル「響子」	その他
坂井・あわら・福井	福井県寿司商生活衛生同業組合	食育・福祉	県内全域	The charming チャイム	その他
坂井・あわら・福井・奥越・丹南	CPLプロジェクトチーム	福祉	敦賀	子ども食堂 めぐの家	食育・福祉・子育て支援
県内全域	笛吹きクローバー	福祉・その他	敦賀	敦賀気比高校OBOGアート展けひのわ	その他
丹南	福井ドレミの会	子育て支援	小浜	NPO ヨダカノ森	環境
県内全域	オカリナサークルしろたんズ	福祉・その他	小浜	若狭日本語の会 はなそう!にほんごのわ	その他

■ 令和6年能登半島地震支援・募金活動

2024年1月1日能登半島で発生した大震災に対して1月3日から3月末まで、宅配・店舗・職員で緊急募金に取り組み、2,354万円の募金が寄せられ、日本赤十字社福井県支部と福井県共同募金会に各1,000万円を義援金として贈呈しました。

被災地への支援活動として1月8日より1週間毎日10名の職員をコープいしかわに派遣し宅配を支援しました。以後も継続して宅配支援や共済訪問活動を行いました。さらに福井県からの要請を受け、支援物資をお届けしました(缶詰3,240個、水600本)。また、福井県介護福祉士会からの要請を受け、石川県の1.5次避難所に福祉職員を派遣しました。

4月27日、6月8日、仮設住宅などに避難している被災者に対して炊き出しを行いました。輪島市町野町で、福井のソースカツ丼など、能登町小浦地区にてお弁当などを提供しました。



■ 能登半島豪雨災害募金

2024年9月21日能登半島で発生した豪雨災害に対して、ハーツおよび役職員で募金活動に取り組みました。

12月、福井県共同募金会に義援金として66万5千円を贈呈しました。



■ 県内大学生への食料支援

福井県生協連合会と連携し、2024年12月にレトルトご飯やカレーなどを物価高で困窮している県内5大学500人の学生にプレゼントしました。



■ 生活困窮者のためのフードバンク・フードドライブ活動・子ども食堂への食料支援

フードバンクは、2014年よりハーツのカップ麺や缶詰、レトルト食品、お米など日持ちする食品を、年3回、社会福祉協議会や自立支援センター、子ども食堂を通じて生活困窮者や必要としている家庭に提供しています。2016年からは、宅配の予備食品を子ども食堂(7団体)に提供することで食品ロス削減に取り組んでいます。2022年度は、食品提供事業者のネットワーク「福井県フードバンク連絡会」を設立し(2025年4月現在22団体)食品収集と提供のしつこみを構築しました。

フードドライブは、2019年からハーツ全店舗と奥越の介護施設きらめき2ヶ所においてスタートし、家庭で余っている食品を集めて、福祉施設や子ども食堂に提供しています。フードドライブは食品廃棄ロスの削減にもつながる取り組みです。現在、坂井市・福井市・鯖江市・越前市・大野市・小浜市・若狭町など自治体と共同の取り組みに広がっています。

■ 2024年度実績

項目	回数	数量(点)	重量(t)	金額換算(千円)
フードバンク活動	60回	38,063	13.3	1,131
宅配の予備食品の子ども食堂への提供	12回	6,845	—	3,146
フードドライブ活動	12回	9,324	2.7	—
合計	84回	54,232	16.0	4,277

※フードバンク活動の数量は連絡会としての点数と重量、金額は店舗ハーツからの拠出額
※フードドライブは食品に加え一部日用品(紙製品・洗剤)を含んだ点数



▲2024年12月10日福井県フードバンク連絡会と子ども食堂ネットワークふくいとの交流会 ▲2023年12月6日福井市木田小学校の児童25名が162点のフードドライブ食品をハーツ羽水に持参いただきました

■ ハーツ全店へフードドライブポストを設置

これまでは、年3回定期的にフードドライブに取り組んできましたが、地域でのニーズの高まりを受けて、2025年4月よりフードドライブポストをハーツに常設し、日常的に受け入れていきます。寄附された食品などは地域の子ども食堂や福祉団体に提供していきます。



■ 「食品ロス削減の推進に向けたフードドライブに関する協定連結式」締結

2025年3月坂井市・PLANT・パロー・県民せいきょうの4者による「食品ロス削減の推進に向けたフードドライブに関する協定連結式」の締結とポストの設置式を行いました。

